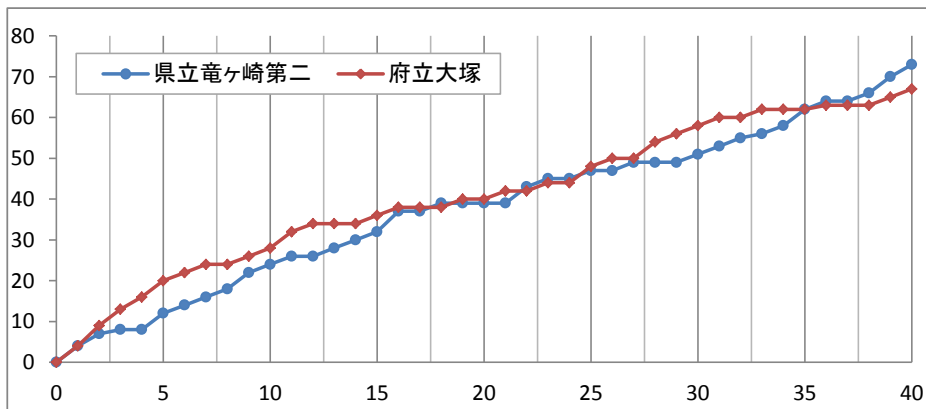


# 平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

女子 2回戦 県立竜ヶ崎第二 73 (茨城) ○ 67 府立大塚 (大阪) ●

主審 岩尾 圭治  
副審 安藤 剛

No. 30j3 日時: 2013年7月30日(火) 13:20 会場: 杵築市文化体育館



## 県立竜ヶ崎第二

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 渡邊 美央 (C)	27	0	11	5	3
5	* 林 郁苗	0	0	0	0	0
6	杉山 加奈	0	0	0	0	0
7	* 二宮 一稀	19	0	7	5	3
8	佐々木 幸乃	6	0	2	2	2
9	山中 綾華	6	0	3	0	1
10	* 山口 晴加	2	0	1	0	0
11	* 銭谷 風菜	11	2	2	1	2
12	宮本 彩花	2	0	1	0	3
13	高野 しずか	0	0	0	0	0
14	山口 実里	-	-	-	-	-
15	石塚 可菜	0	0	0	0	0
コーチ	宮田 宗典					
合計		73	2	27	13	14

## 府立大塚

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	宮本 千佐都	-	-	-	-	-
5	* 松本 晴香 (C)	15	0	7	1	3
6	加世田 滯	2	0	1	0	0
7	増田 汐南子	0	0	0	0	0
8	* 松田 桃子	22	0	11	0	2
9	北野 智美	-	-	-	-	-
10	川内 もえ	-	-	-	-	-
11	東 ちひろ	-	-	-	-	-
12	小出 七海	0	0	0	0	0
13	* 池田 早紀	8	0	3	2	3
14	* 中澤 彩	11	1	4	0	1
15	* 山口 真季	9	1	3	0	2
コーチ	東 博之					
合計		67	2	29	3	11

\*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

## 戦評

第1ペリオド お互いマンツーマンDefでスタート。序盤から早い展開で点を取り合い、両者一歩も引かない状態が続く。4分を過ぎてから府立大塚の#14の3ポイント、ミドルシュートで20-10と引き離しにかかる。しかし竜ヶ崎も#4や#7のドライブインで対抗する。残り3分を切り竜ヶ崎がDefのプレッシャーを強めスティールから連続加点し4点差の28-24で終了する。第2ペリオド竜ヶ崎の#4のシュートで始まる。竜ヶ崎は第1ペリオド同様に激しいDefからの速攻で加点していく。一方、府立大塚も外郭のシュートを狙うが決まらない。残り4分竜ヶ崎#11の3ポイントで38-37の1点差に詰めたところで、府立大塚のタイムアウト。府立大塚はハーフのゾーンDefに変え流れを引き込みにかかる。残り2分、お互い決め手を欠き40-39で前半を終了。第3ペリオド 立ち上がり、府立大塚#15が決まり3点差にするが、竜ヶ崎の激しいDefにミスが続く府立大塚は逆転をされる。府立大塚は変わって出た#6がミドルシュート、#5のリバウンドシュートで再逆転に成功。残り3分を切り竜ヶ崎にミスが出始め府立大塚が5点のリードに広がる。最後に府立大塚の#5と#8のハイ&ローが決まり58-51で終了。第4ペリオド お互い激しいDefから始まる。両者譲らぬ一進一退の展開が続く。3分を過ぎてから竜ヶ崎のDefに府立大塚にミスが続く。4分を過ぎ、府立大塚は3-2のゾーンDefに変えるが流れは竜ヶ崎に傾く。残り5分ついに竜ヶ崎が逆転に成功。府立大塚はインサイドにボールを集めるが効果的な攻撃ができない。竜ヶ崎1点リードでこう着状態が続いたが、残り1分51秒、連続得点で竜ヶ崎5点リードになる。府立大塚も#5の速攻で追いつくが、最後に竜ヶ崎#11の3ポイントが決まり73-67で竜ヶ崎の勝利で終了した。敗れはしたが、最後まで精一杯プレイした府立大塚にも会場から温かい拍手が送られていた。

記載者 園田 昌彦 (所属) 大分県バスケットボール協会